

□議員名：会派新政会 松尾数則

1 「地域を創る」の内容について

論点	地域のつながりや支え合いの仕組みづくりをつくる手段について聞く。
回答	地域運営組織を相互に協力を行ない、様々な地域の課題を共有し、その課題解決に向けた取組を実践行動するための組織とし、地域のつながりや支え合いの仕組みづくりの象徴となる事業としたい。まずは、地域運営組織の立ち上げ、地域の皆様との話し合いの場を設け、地域の今を共有し、十分な協議を行っていききたい。

論点	地域運営組織を立ち上げ、持続可能な地域づくりの核にするために何が必要なのか聞く。
回答	行政の仕組みだけで解決するには限界があることから、地域住民自らが主体となって地域の将来ビジョンを描き、地域課題解決に向けた取組を持続的に行うための組織の形成と、生活支援機能を支える事業の展開が必要となってきた。地域課題は地域によって様々であることから、まずは地域から幅広い意見を集約し、話し合いの場を設けることから始めたい。

2 「ひとを創る」の内容について

論点	どのような人を創り、活躍を期待するのか。
回答	担い手となる人が必要である。地域運営組織は多様な主体が参画し、それぞれが物的・人的資源を持ち寄り、協力し合いことで機能する組織で、たくさんの方々に地域の取組を知っていただき、多様な協力や参画を行っていただけるような体制をつくりたい。

3 「まちの価値を創る」の内容について

論点	市の魅力を人々から求められる価値とするための方法、手段を聞く。
回答	人口減少社会において、まちの持続性を担保するためには、まち自体の魅力を高め、人から選ばれるまちであり続けることが必要である。本市には、新幹線、山口東京理科大学等、近隣市町との比較においても引けを取らないレベルの魅力が備わっている。元来備え持つ魅力をさらに洗練させていくことで、まちの価値を高めたい。

論点	新幹線厚狭駅の今後の再開発について考えを聞く。
回答	新幹線の厚狭駅にひかり、さくらが停車することについては今後も働きかけていきたい。駅南については、保育所の進出、さらには県とタイアップする中で県営住宅も設置する等、これからもいろいろな人の力を借り新幹線厚狭駅地域を推進していく。

論点	新たな産業としての6次産業について聞く。
回答	付加価値をつけて高く売り所得を上げる手段等については、新規事業の中で専門家の意見を聞きながら、農家等の事業実施主体にアドバイスをしながら作り上げたい。

4 「3つの創る」の観点について

論点	都市部から地方部への人の流れをどうつくるかを聞く。
回答	都市部から地方部へ人の流れがあるものと認識している。本市の移住・定住施策においては、今年度、新たにホームページを構築するほか、リーフレットを作成する。都市部を含め、本市を知らない人、本市へ移住を検討している人に、幅広く市外からの移住者の増加につなげたい。

5 デジタル技術の活用について

論点	デジタル技術の活用をまちづくりに活用する具体的な手法を聞く。
回答	デジタル技術の活用については、市民の暮らし、市民サービスの向上、業務効率化に向けての取組が求められている。本市ではスマートシティ、デジタル自治体を2つの柱に据えて取り組む。現在、取組をより具体化するため、アンケートを実施し、ヒアリングを行い、導入可能なデジタル技術の調査検討を行う。

6 施政方針の詳細な説明について

論点	施政方針は、市民に内容を理解してもらう必要があるのではないか。市民に詳細を説明する必要性について聞く。
回答	説明の必要性については認識をしている。今後、地域運営組織に関するフォーラムを予定している。各地域で説明をし、意見を集約する取組が必要になるので、そのような機会に考え方を説明する。